

消費者事故等調査報告書【概要】

—住宅の窓及びベランダからの子どもの転落事故—

【消費者安全調査委員会】

(1) 事故情報

6歳未満の子どもの住宅の窓及びベランダからの転落死亡事故 134 件（1993 年から 2024 年までの 32 年分）の発生状況を調査した。転落箇所別では、窓が 42 件、ベランダが 92 件であった。窓からの転落は 1 歳の事故が最も多く（42 件中 12 件。次いで 2 歳が 10 件）、ベランダからの転落事故は 3 歳の事故が最も多かった（92 件中 41 件。次いで 4 歳が 21 件）（図 1）。

なお、事故発生時における保護者の在宅状況は、在宅が 134 件中 65 件、不在（家族の送迎、ごみ出しなど短時間の外出を含む。）が 55 件であった（残り 14 件は不明）（図 2）。

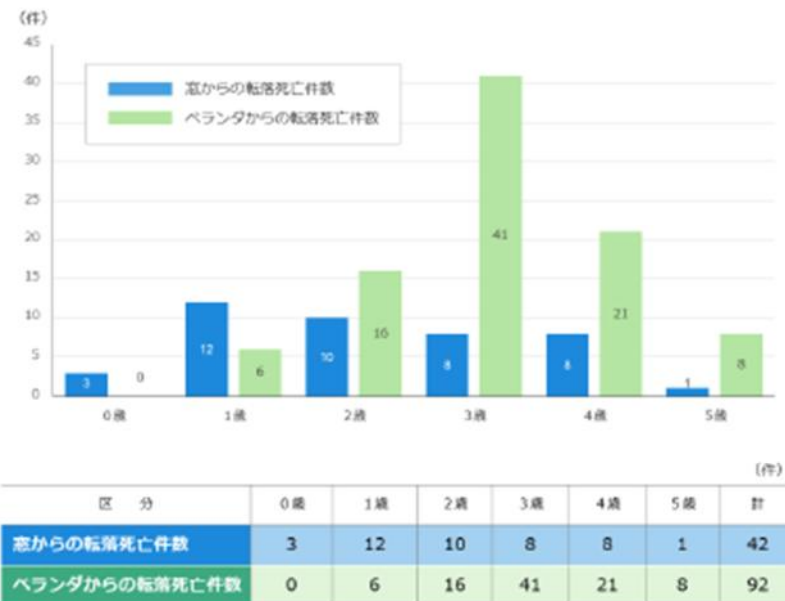


図1 窓及びベランダからの転落死亡者数

在宅	65
不在	55
不明	14
計	134

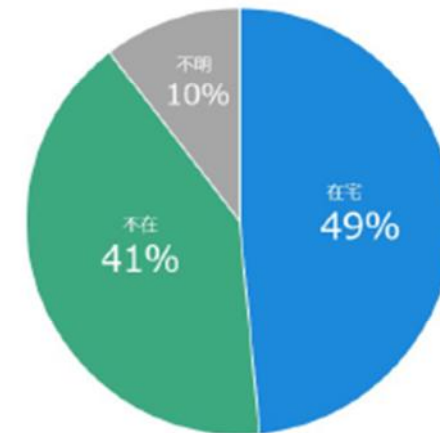


図2 事故発生時における保護者の在宅状況

